

# 胃がん検診を

検査説明用紙

## これから受ける方・受けた方へ

胃がんは50歳代以降にかかる人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置します。  
検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。2年に1度、定期的に受診しましょう。

●検診方法は2種類。**胃部エックス線検査**または**胃内視鏡検査(胃カメラ)**のどちらかを選んで受診します。

### **胃部エックス線検査** (対象年齢: 40 歳以上)

発泡剤(胃を膨らませる薬)とバリウムを飲み、  
胃部エックス線で胃の粘膜を  
観察する検査。

※要精密検査となった場合、  
胃内視鏡検査が必要です。



### **胃内視鏡検査(胃カメラ)** (対象年齢: 50 歳以上)

口または鼻から内視鏡を挿入し胃内部の粘膜を  
観察する検査です。

検査で医師が必要と判断した場合、  
そのまま精密検査として生検(胃粘膜  
組織の採取)を行うこともあります。

※生検は医療保険で実施するため、  
別途自己負担金が生じます



## ●判定結果の見方

| 判定結果                                   |                                                   | 検診後にすること                                                  |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <div>胃内視鏡検査<br/>胃部エックス線検査<br/>共通</div> | 「現在のところ異常ありません」<br>「軽度の所見を認めますが、<br>今のところ問題ありません」 | 今後も定期的に検診を受けましょう。<br>自覚症状がある場合は検診を待たずに<br>専門医療機関を受診しましょう。 |
|                                        | 「要観察」                                             | 経過観察が必要な所見を認めます。<br>医師の指示にしたがって、<br>医療機関を受診し経過をみていきましょう。  |
| 胃部エックス線検査で「要精密検査」                      |                                                   | 精密検査を受診しましょう。                                             |
| 胃内視鏡検査での生検の結果、「異常なし」                   |                                                   | 異常がなくても<br>定期的な検査を受けましょう。                                 |
| 胃内視鏡検査での生検の結果、「異常あり」                   |                                                   | 詳しい検査が必要なので、<br>医療機関を受診しましょう。                             |
| 胃内視鏡検査で「要治療」                           |                                                   | 医療機関で治療を<br>受けましょう。                                       |

### 《ご確認ください》

- ☐ 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
  - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合(偽陽性)や、がんがあるのに見つけない場合(偽陰性)があります。
  - ・検査によって、出血や穿孔(胃に穴が開くこと)が起こることがあります。
- ☐ 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。